

令和2年度 地方創生推進交付金事業【外部評価】

指標

※数値上段: 年度目標値 / 下段: 実績値

	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成	目標値
主観	市民意識調査『観光の振興』の満足度	%	21.8	22.9	30.0	25.0	×	25.0
			13.0	20.2	19.0	17.9		
客観	観光入込客数(総数)	千人	7,742	7,783	7,950	10,000	×	10,000
			9,601	9,289	8,839	6,207		
客観	観光入込客数(アウトレット除く)	千人	2,310	2,332	2,376	2,500	×	2,500
			2,403	2,507	2,299	1,414		
客観	イベント来場者数	千人	677	684	709	617	×	617
			419	510	364	14		

事業

観光PR事業(武将と歴史街道を核とした広域観光プロジェクト)

事業費	1,919千円
実施内容	<p>【事業概要】 「土岐市観光振興計画」に基づいた観光振興を講ずることで、観光資源の掘り起こし、創出、磨き上げ、観光客受入環境の整備、知名度の向上、効果的な情報発信、市民及び関係者が参画した持続可能な観光まちづくりの推進に向けて、広告掲載、PR看板掲出、PR看板改修、パンフレットの作成、イベント開催・出店、観光大使を活用したプロモーション活動を展開する。</p> <p>【実施状況】 新型コロナウイルス感染拡大予防の影響で広告掲載、PR看板掲出、パンフレット作製、イベント開催など自粛せざるを得ない状況の中、美濃焼PR委員会主催のときめき美濃焼陶器市の運営に協力した。</p> <p>また、「麒麟がくる」PRでは協議会を形成し各地域、団体と連携して岐阜県の魅力発信のためプロモーションノベルティグッズを作成した。</p> <p>【事業費内訳】 全体事業費は35,607千円。 このうち土岐市の負担額は1,919千円(うち900千円を地方創生推進交付金に活用)</p>
評価	<p>【0人】 拡大すべきである 【1人】 現状維持 【4人】 手法見直し 【1人】 縮小・廃止</p>
委員のコメント	<p>・コロナ禍での観光振興の在り方を検討することが必要であった。 ・VR(バーチャルリアリティ)体験、視覚、味覚、体感が感じられる観光PR館を開館し、そこで土岐市駅からの観光バスを走らせ四季を感じる市内遊覧・観光施設での滞在・お土産の予約・購入、食事提供店の案内等をしてみてはどうか。 ・コロナ禍によって受けた影響が大きいと思われる。大河ドラマによる土岐市の知名度が上がったため、SNS等で引き続きPRをしていく必要がある。</p>